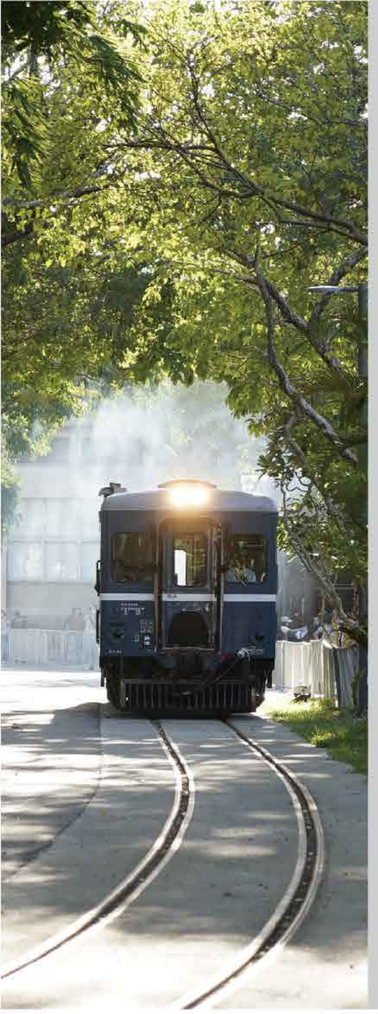


NATIONAL RAILWAY MUSEUM

2026.10版

「生きた鉄道博物館」への歩み

国家鉄道博物館は、國定古蹟（国指定文化財）「台北機廠」に位置しています。1935年の竣工以来、台湾に現存する車両工場の中で最も歴史が古く、設備も充実した施設です。

2013年、車両整備の拠点が桃園の富岡車両基地へ移転し、2015年に台北機廠の全域は國定古蹟に指定されました。これを契機に、国家レベルの鉄道博物館に向けたプロジェクトが始動し、2025年には第1期オープンを迎えました。当館では現在も、「生きた鉄道博物館」をコアバリューに掲げ、次の段階に向けた準備を進めています。

WEBSITE FACEBOOK

台北機廠の執務中枢

01-1 総合事務棟



台北機廠の事務を担ってきた総合事務棟の建物正面の上部には、「臺北機廠」の4文字が大きく掲げられ、工場のシンボルとして長く親しまれてきました。1階を展示室として公開し、「総合事務棟復元展」「移動と感動——鉄道の文化と記憶常設展」のほか、企画展「文化のなかの台湾鉄道史」を開催しています。

特別展示室

01-2 材料試験所



総合事務棟と通路でつながる「材料試験所」は、かつて物理試験所と化学試験所の2つのフロアに分かれていました。試験所としての使用が終了した後も、技術者を育成する実習工場や集会用の小講堂として利用され、鉄道博物館準備処が設立してから、ここで数多くの展示やイベントが開催されています。

キッズスペース、多機能スペース

01-3 技工養成所



日本統治時代は「鉄道技工見習教習所」、戦後は「技工養成所」と呼ばれ、鉄道技術者を育成する施設として使われました。1982年に養成所が廃止されてからは、台鉄職員の研修所や労働組合事務所として利用されました。こうした歴史を受け継ぎ、現在はイベントやセミナーに利用できる教室や多機能スペースとなっています。

〈スチーム時代——大浴場展〉

02 職員浴場



1935年に竣工した職員浴場は、2000年に台北市の市指定文化財となった、台北機廠で最初に文化財としての価値が認められた建物です。かつては、仕事を終えた職員が帰宅前に身体を清潔にし、疲れを癒やすための重要な福利厚生施設として利用されていました。ここを会場に、「スチーム時代——大浴場展」を開催しています。1930年代の建築模型、中央浴場の復元展示、文化財修復プロセスの3つの展示エリアがあります。

〈動力・汽車——ディーゼル機関車工場常設展〉

03 ディーゼル機関車工場



ディーゼル機関車工場は、かつて台北機廠でディーゼル動車の整備が行われていた場所です。1962年の操業開始以来、台湾の鉄道産業の変遷と発展を刻んできたこの工場では、常設展「動力・汽車——ディーゼル機関車工場常設展」を開催しています。「鉄道動力」「鉄道車両」「史跡と歴史」「保存と修復」の4つのテーマを軸に、鉄道とともに歩んできたこの工場の歴史を紐解きます。

〈甦る！大講堂での職員生活展〉

10 大講堂



1971年に改築された大講堂の内部には、集会所と職員食堂があり、かつて台北機廠で働く人々の日常生活や娯楽の場となっていました。当時の機能を受け継ぎ、現在は食事や休憩のほか、各種イベントにも利用できる多機能スペースとして使用されています。ミュージアムショップも併設し、軽食や鉄道グッズを販売しています。また、かつて職員食堂があった東側エリアでは、「甦る！大講堂の職員生活展」を開催しています。

ご利用案内
INFORMATION

開館時間 火曜日〜日曜日09:30-17:00（最終入館16:30）

アクセス

MRT	南京三民駅［松山新店線］	2番・3番出口より徒歩約10分
	市政府駅［板南線］	1番・2番出口より徒歩約15分
	国父紀念館駅［板南線］	5番出口より徒歩約15分
台鉄	松山駅から徒歩約20分	
バス	669番・市民東寧路口バス停下車	徒歩約1分
	202・203・205・257・276・605番・八徳東寧路口バス停下車	徒歩約5分

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、お車でお越しの場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。有料駐車場の情報は、公式サイトの「アクセス」をご覧ください。

110055台北市信義区市民大道五段50号｜(02)8787-8850｜www.nrm.gov.tw

ディーゼル機関車工場・入場料金

一般	NT$100	12歳以上
優待	NT$50	学生・65歳以上［土日・祝日］
無料	NT$0	65歳以上［平日］ 6歳未満 障害のある方と同伴者1名

動態保存車両の乗車体験
HISTORIC TRAIN RIDE EXPERIENCE

乗車場所 鉄博東駅・鉄博西駅

土休日に運行します。
最新の運行情報は、公式サイトまたは現地の案内をご確認ください。

運行車両 ディーゼルカー「藍皮車」の1両運行（DR2303号またはDR2203号）

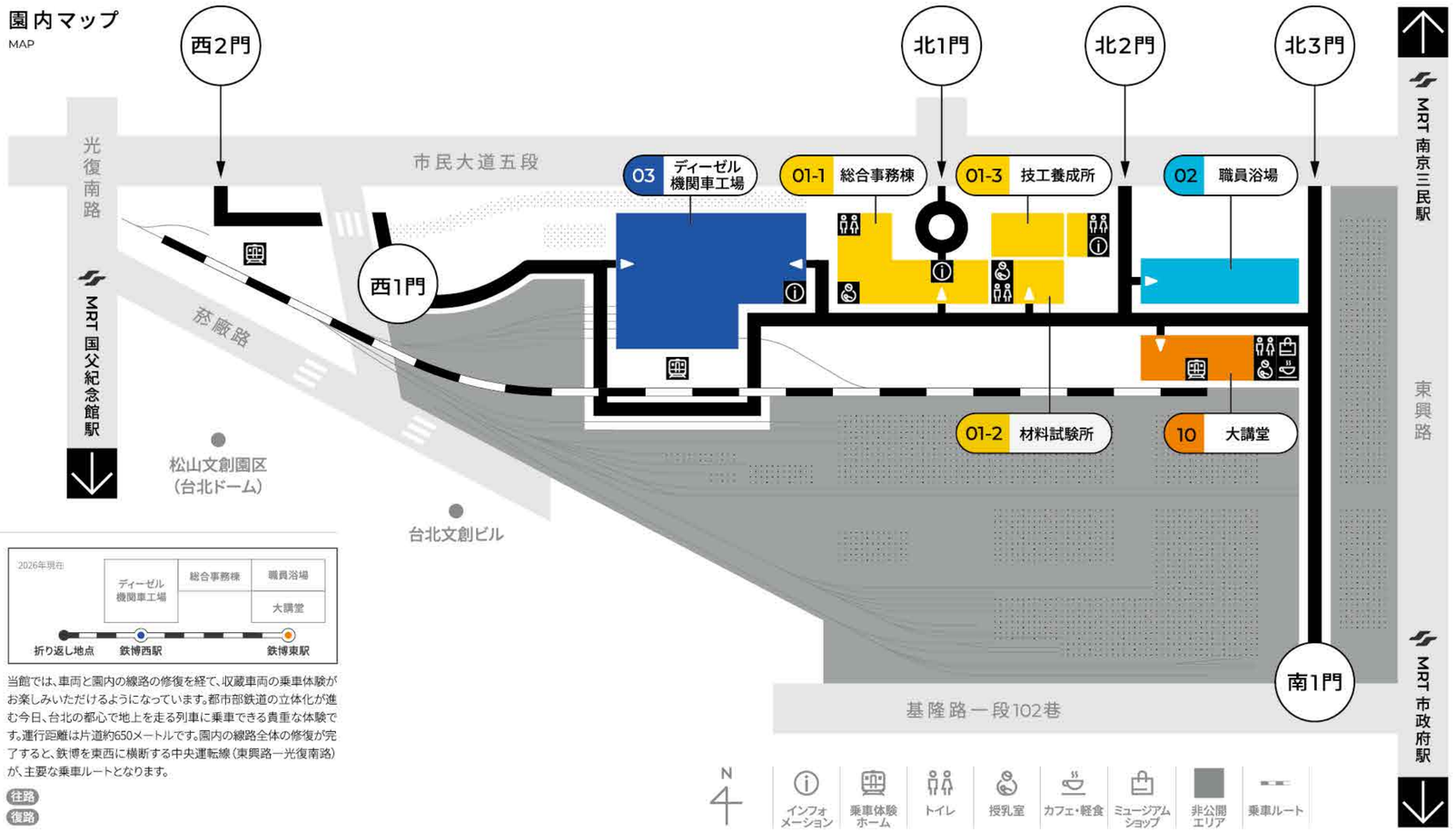
＊運営上の都合により、予告なく車両が変更となる場合があります。

期間限定料金

一般	NT$75	12歳以上
優待	NT$35	6歳〜11歳・65歳以上
無料	NT$0	6歳未満 障害のある方と同伴者1名

＊6歳未満の子どもは、18歳以上の大人1名につき2名まで同伴できます。
＊車両の構造上、デッキに段差があり、ドア幅にも制限があるため、車いすやベビーカーに乗ったままでのご乗車はできません。ご了承ください。

園内マップ
MAP



当館では、車両と園内の線路の修復を経て、収蔵車両の乗車体験がお楽しみいただけるようになっています。都市部鉄道の立体化が進む今日、台北の都心で地上を走る列車に乗車できる貴重な体験です。運行距離は片道約650メートルです。園内の線路全体の修復が完了すると、鉄博を東西に横断する中央運転線（東興路一光復南路）が、主要な乗車ルートとなります。

往路
復路

参観ガイド（日本語）

國家鐵道博物館
NATIONAL RAILWAY MUSEUM